

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月23日(月)	試合番号	B6	回戦	2回戦
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
滝ノ水 (愛知)			原川 (大分)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	8	前半	7	13	
	11	後半	6		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

滝ノ水 (愛知) と原川 (大分) の一戦は、原川のスローオフで試合開始。前半は一進一退の展開となった。先制点は原川。2番の素早いカットインから得点をあげた。対する滝ノ水もコートを広く使った攻撃で、5番のサイドシュートが決まり、すぐさま同点とする。その後も両チームともGKを中心とした固いディフェンスから、相手に簡単にシュートを打たせず、一步も譲らない展開となる。すると14分、原川の5番のカットインからのシュート、フォーメーションプレーが決まり、原川が2点リード。嫌な流れを断ち切りたい滝ノ水はタイムアウトをとると、5番がサイドシュートを連続で決め、同点に追いつく。さらに勢いに乗った滝ノ水は6-5と逆転に成功する。その後は両チームとも得点を奪い合い、8-7と滝ノ水が原川に対して1点をリードし、前半を終える。

後半も序盤はお互いに譲らない展開が続くが、8分過ぎに原川に連続で退場者がでたことをきっかけに滝ノ水が数的優位を活かした攻撃を展開。滝ノ水の7番が思い切りのよいプレーで4連続得点をあげ、徐々にリードを広げる。15分を経過したところで、滝ノ水が17-10とその差を7点とする。何とか局面を打開したい原川は、フォーメーションプレーをきっかけに得点を挙げるが、再び退場者を出してしまい、滝ノ水は7mスローを11番が確実に決め、点差をキープ。そのまま滝ノ水が追いつがる原川を振り切り、19-13で勝利した。

記載者名

原 畠 順平